

## 高付加価値な観光コンテンツの造成に資する 地域資源と情報発信戦略に関する調査について

一般社団法人中国経済連合会（会長：芦谷 茂）は、公益財団法人中国地域創造研究センター（会長：船木 徹）、中国電力株式会社（社長：中川 賢剛）ならびに中国電力ネットワーク株式会社（社長：長谷川 宏之）と共同で、中国地域における高付加価値な観光コンテンツの造成に資する地域資源と情報発信戦略に関する調査を実施しました。このたび、同調査結果を報告書としてとりまとめましたので、お知らせします。

### 1. 調査目的

中国地域のインバウンド観光は、宿泊者数、旅行消費単価が他ブロックに比べ低位であることが長年の課題であり、誘客拡大や滞在期間延長を図る取り組みとともに、高付加価値な観光コンテンツの造成が重要と考えられます。

中国地域は、世界遺産などの著名な観光スポットや風光明媚な自然風景、固有の歴史・文化など多様な地域資源を有しており、こうした様々な地域資源を体験型の観光コンテンツとして十分に活用していくことが必要と認識しています。

そこで、本調査では、インバウンドの体験型観光の志向を調査し、特に、歴史・文化関連の地域資源を活用した観光コンテンツの高付加価値化に資する方策の方向性について検討しました。

また、来訪先として中国地域を選択してもらうため、志向や属性等を踏まえた戦略的な情報発信のあり方に関する調査も併せて実施しました。

なお、今回の調査は、中国地域への来訪者数が多く今後も増加が期待され、かつ、その土地ならではの文化への関心が高いとされる台湾を中心に、香港、韓国、中国といった東アジアの個人旅行者をターゲットとしています。

### 2. 調査結果（概要）

#### （1）ターゲット国・地域の個人旅行者の志向調査

- ・台湾、東アジア（香港、韓国、中国）、欧米豪で、日本への旅行意向がある方を対象にウェブアンケートを実施
- ・歴史・文化の分野を 23 ジャンル抽出し、更にそれぞれのジャンルをアクションごとに「見物・観賞型」「学習型」「体験・参加型」のタイプに区分したうえで、体験希望の志向度を詳細に調査し、国・地域ごとの特徴を比較
- ・旅マエ・旅ナカにおける利用情報源を調査

#### （2）国内事例のヒアリング

- ・地域の歴史・文化資源を活用した観光コンテンツの造成や外国人旅行者の戦略的な誘客を実施している事例（国内 5 ヶ所・6 団体）を選定し、高付加価値化の基本要件や情報発信・プロモーションなどに関するインプリケーションを抽出・整理

(3) 観光コンテンツ造成に向けた課題と方策の方向性および情報発信のあり方  
～まとめ～

- ・中国地域の歴史・文化資源の例示と高付加価値な観光コンテンツ化の具体例の抽出
- ・ヒアリング結果から得られたインプリケーションに基づき、高付加価値な観光コンテンツ造成の課題と中国地域における方策の方向性を提示
- ・個人旅行者の志向や属性等を踏まえた、海外旅行会社などへのプロモーションや旅行者向け情報発信の戦略的な手法を整理

※詳しくは、別添の「高付加価値な観光コンテンツの造成に資する地域資源と情報発信戦略に関する共同研究（報告書概要）」をご参照ください。

### 3. その他

この調査結果については、国・地方の行政機関や観光関連団体へ報告するとともに、当連合会の事業活動に活用してまいります。

以 上

- ・本調査結果は、当連合会ホームページに掲載しています。

(中国経済連合会トップ提言・要望・報告)

URL <https://www.chugokukeiren.jp>

QRコード



- ・調査内容に関するご質問等ございましたら、下記までご連絡ください。

(一社) 中国経済連合会 担当：菅坂

T E L : 082-242-4511 E-mail : zh-tsuga@pnet.gr.energia.co.jp

F A X : 082-245-8305